

北海道高体連より

*新型コロナウイルス感染症に対する部活動・大会等に関する対応及び高体連主催大会について

○令和2年5月27日付の「中学校、高等学校及び特別支援学校等の再開に当たっての部活動の留意事項について」を参照してください。

- 1 部活動の活動時間等（休養日や活動時間の設定及び大会等の参加）については、「北海道の部活動の在り方に関する方針」を厳守すること。
- 2 生徒等の感染のリスクを可能な限り減らすための十分な配慮を行うこと。
なお、生徒等の感染のリスクを可能な限り減らすための十分な配慮ができない場合は、活動を自粛すること。
- 3 臨時休業及び春季休業期間において、運動不足になっている生徒もいると考えられることから、十分な準備運動を行うとともに、十分な練習時間を経ないうちは、対外試合や校外での合宿等身体に過度の負担のかかる活動を避けるなど、生徒の怪我防止には十分に留意すること。
- 4 対外試合や校外での合宿等については、地域の感染状況等を踏まえ、部活動を担当する教師のみでこれらの実施を決定するのではなく、学校として責任をもって実施の必要性を判断するとともに、仮に実施する場合は、大会参加と同様に感染防止対策を講じることが必要であること。

○令和2年5月29日付「学校再開後における部活動の大会等の開催に係る配慮等について」を参照してください。

- 1 部活動の実施については、上記の中学校、高等学校及び特別支援学校等の再開に当たっての部活動の留意事項についてにより十分な感染症対策を行ったうえで実施する。
- 2 大会等の再開や開催などについては、生徒の過度な負担や部活動顧問の負担増を招くことのないよう、開催回数の縮減や開催時期の集中化の回避など、無理のない大会等の設定に配慮する。

○北海道高等学校体育連盟主催大会について

- 1 ラグビーフットボール競技及び駅伝競走競技については、北海道高等学校体育連盟主催大会として準備を進める。
- 2 冬季スポーツのスケート競技及びスキー競技については、北海道高等学校体育連盟主催大会として準備を進める。
- 3 ただし、開催時期の感染拡大により状況が悪化した場合は、実施の可否について再度検討する。